

令和5年7月1日発行

長泉寺だより

真言宗 御室派 薬園山 長泉寺

〒700-0807

岡山市北区南方3丁目10番40号

TEL (086) 223-7450

FAX (086) 221-0302

振込 岡山 01250-6-6418

ホームページ [www.chosenji.net](http://www.chosenji.net)

第 342 号

バカ

大師ご誕生一二五〇年記念事業を先月、無事盛況に奉修することができた。特に養老孟司先生を招いての記念講演会には、六五〇名もの参加を賜り、併せて大師誕生を寿ぐ「青葉まつり」にも満席のご参加をいただいた。皆様には深く感謝を申し上げます。

ところで今回、養老先生を招いたのは、その思想に仏教が通底しているからである。先生の代名詞とも言える「バカの壁」にいたっては、表現はともあれ内容は密教的ですらある。

人間は、言葉によって認識できる世界のみを生きているのではない。むしろ私たちが持つ身体性、無意識、感覚、それら言語化できない領域にこそ、生命

## バカの壁

ひ と も し

の本質がある。だからこそ、言葉による認知を超え、実践や体感、即ち密教が求められる。

「まあ、猫でも撫でてりや良いんですよ。」——言葉が溢れる現代、人間はどうあるべきか？との問いに先生はそう答えられた。言葉に言葉を重ねる一方、そこに収まらないものは「想定外」とする時代。しかし、想定外こそが自然の理。言葉は確かに大事ではあるが、言葉の世界だけを生きていると想定外にはまるで対応できない。

自然はただ、在りのままに在るのみ。人間も自然に即して生きるほかない。人間社会はやたらと理屈や評価を求めるが、所詮は泡沫——まさに「バカの壁」と言える。切に密教を生きたいと思う。(龍)

※『バカの壁』・・・平成15年(2003)新潮社より刊行された養老孟司先生の著書。450万部のベストセラー。同年の流行語大賞にも選ばれた。

池田綱政公所縁

し ら す が かん の ん

白須賀観音

夏まつり

7月16日(日) 18時00分~20時30分 於 長泉寺境内

ステージ、屋台出店、お楽しみ抽選会など、盛りだくさんのイベントを行うとともに、除災招福の靈験鮮かなる白須賀観音に供養を捧げます。どうぞお参り下さい。

# 弘法大師ご誕生

## 一二五〇年記念事業

龍門

本年は真言宗祖弘法大師様のご誕生一二五〇年です。誕生月である先月には、総本山善通寺様をはじめ各山にて記念法会が行われましたが、ここ岡山におきましてもその記念行事を奉修いたしました。



先ず宗祖誕生を慶祝する法会「青葉まつり」の前段として、六月十一日に東京大学名誉教授の養老孟司先生をお招きし、記念講演会を開催。養老

先生は、私個人的にも多くの著書を読ませていただいたっており、長年にわたって尊敬申し上げる御方です。そのお話のすべてに仏教が通底していることから、この度の記念事業にぜひ岡山でご講演を賜りたいとご無理をお願いしております。

満席の会場で、ここに晴れて実現したこと

を心から嬉しく思っています。ご来場いただきました皆様にはありがとうございます。

これらの主催は「岡山市弘法大師降誕会」によるものでして、旧岡山市内の真言宗寺院（現在十五ヶ寺）が結衆して運営しております（私は事務局を仰せつかっています）。実に大正八年よりこの「青葉まつり」を継続しており、その歴史に恥じぬよう力を込めて今回の事業を実施させていただいた次第でございます。

多くの方に様々な形でご支援を賜りましたこと、ここに深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

来年以降もぜひ多くの方にご参拝いただきたく、その旨併せてよろしくお願い申し上げます。

合掌

## 檀信徒総代会総会

六月二十日、第十五期長泉寺檀信徒総代会（岩見徹総代長）は今年度総会を開催し、昨年度の決算、事業報告、並びに今年度の方針、事業予定等を協議し、住職からの提案について全会一致で決議されました。

また、現役員の任期満了にあたり、副総代長の渡邊進氏（南方）が退任され、新たに浦上洋氏（足守）が総代、有松啓介氏（西川原）が監査役に就任されました。

引き続き健全なる法人運営に務めて参ります。

檀信徒皆様には、どうかご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

第十六期長泉寺檀信徒総代会

総代 長 岩見徹

総 代 丸山惣一・金田勉

多田章利・浦上洋

監査役 田口茂・有松啓介

## 万灯万華供養

# 本尊大祭

本尊薬師如来の厨子を開け、檀信徒精霊に万灯万華供養の施しを捧げる「本尊大祭」を、五月五日夜より八日にかけて開催いたしました。

初夜、後夜、日中と一日三座の理趣三昧法会を三日間におたつて奉修し、結願の八日には真言宗岡山市内結衆寺院十五ヶ



寺にご参集いただき、中曲理趣三昧法会の法楽を捧げていただきました。さらには、瓶井山安住院（中区国富）副住職の生駒善勝僧正に法話をいただき、ご参拝の皆様にご喜んでいただきました。

開催にあたりましては、総代、世話人様には準備片付けと大変お世話になりました。ご参拝いただきました方々を含め、皆様には心より御礼申し上げる次第です。

## 永代供養「樂陽廟」合同供養

### 春秋祭

永代供養塔「樂陽廟」で祀られる檀信徒各家精霊に回向を捧げる「春秋祭」を四月二十一日、玉佛堂で奉修しました。



当日は、約三十名のご参拝をいただき、玉佛堂本尊釈迦牟尼如来の御宝前にて般若理趣經、般若心經、十三佛真言等をお唱えし、併せて光明真言を唱えながら樂陽廟の地下から三階までを歩いて練供養いたしました。

ご参拝いただきました皆様にはありがとうございます。

春秋祭は、毎年四月二十一日と十一月二十一日の大師御縁日に併せて奉修しております。

## 総本山善通寺参拝

長泉寺杖心会は六月三日、真言宗祖弘法大師様ご誕生の地である総本山善通寺様へ団体参拝いたしました。

参加者三十五名は、善通寺御影堂でお大師様ご誕生をお祝いするための読經、御法楽をあげ、普段見ることのできない内陣奥を特別拝観させていただきました。また、屏風ヶ浦海岸寺様へも参拝し、盛りだくさんのお参りとなりました。

ご参加いただきました皆様には、ありがとうございます。



## 聖観音像修繕開眼法会

四月二十一日、大師縁日法会、

樂陽廟春秋祭に併せてまして、

昨<sup>しやう</sup>年<sup>ねん</sup>秋<sup>あき</sup>に台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>で倒<sup>たふ</sup>壊<sup>かい</sup>した聖<sup>しょう</sup>観<sup>くわん</sup>音<sup>おん</sup>立<sup>りゅう</sup>像<sup>ざう</sup>の修<sup>しゅう</sup>繕<sup>ぜん</sup>開<sup>かい</sup>眼<sup>げん</sup>法<sup>ぽう</sup>会<sup>かい</sup>を行<sup>おこな</sup>い

ました。

当<sup>あた</sup>観<sup>くわん</sup>音<sup>おん</sup>像<sup>ざう</sup>は、元<sup>もと</sup>々<sup>々</sup>は南<sup>なん</sup>方<sup>ぽう</sup>福<sup>ふく</sup>原<sup>げん</sup>

家<sup>け</sup>の庭<sup>てい</sup>園<sup>えん</sup>に祀<sup>まつ</sup>ら<sup>れ</sup>て<sup>いた</sup>た尊<sup>そん</sup>像<sup>ざう</sup>で、

昭<sup>しょう</sup>和<sup>わ</sup>六<sup>ろく</sup>十<sup>じゅう</sup>年<sup>ねん</sup>に<sup>ご</sup>当<sup>た</sup>家<sup>け</sup>よ<sup>り</sup>ご寄<sup>よ</sup>進<sup>しん</sup>

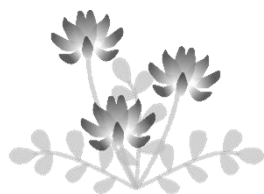
を<sup>い</sup>た<sup>だ</sup>き、以<sup>も</sup>来<sup>らい</sup>「水<sup>みづ</sup>掛<sup>かけ</sup>観<sup>くわん</sup>音<sup>おん</sup>」

と<sup>呼</sup>ば<sup>れ</sup>参<sup>ま</sup>拜<sup>はい</sup>者<sup>しや</sup>皆<sup>みな</sup>さ<sup>ま</sup>に親<sup>お</sup>しま<sup>れ</sup>て<sup>き</sup>ま<sup>し</sup>た。



昨<sup>けつ</sup>年<sup>ねん</sup>の台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>によ<sup>り</sup>倒<sup>たふ</sup>壊<sup>かい</sup>した後<sup>のち</sup>、  
檀<sup>だん</sup>信<sup>しん</sup>徒<sup>だ</sup>皆<sup>みな</sup>様<sup>さま</sup>に修<sup>しゅう</sup>繕<sup>ぜん</sup>の<sup>ご</sup>寄<sup>よ</sup>付<sup>つ</sup>を募<sup>も</sup>  
ら<sup>せ</sup>て<sup>い</sup>た<sup>だ</sup>き<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>と<sup>こ</sup>ろ、  
福<sup>ふく</sup>原<sup>げん</sup>家<sup>け</sup>を<sup>含</sup>む<sup>二</sup>十<sup>じゅう</sup>一<sup>いち</sup>名<sup>めい</sup>の御<sup>ご</sup>方<sup>ぽう</sup>よ<sup>り</sup>  
ご寄<sup>よ</sup>付<sup>つ</sup>を賜<sup>たま</sup>ひ、こ<sup>こ</sup>に<sup>見</sup>事<sup>こと</sup>に  
修<sup>しゅう</sup>繕<sup>ぜん</sup>が<sup>施</sup>さ<sup>れ</sup>ま<sup>し</sup>た。

ご協<sup>きょう</sup>力<sup>りき</sup>い<sup>た</sup>だ<sup>き</sup>ま<sup>し</sup>た<sup>皆</sup>様<sup>さま</sup>に  
は、心<sup>こころ</sup>よ<sup>り</sup>厚<sup>あつ</sup>く感<sup>かん</sup>謝<sup>しゃ</sup>を<sup>申</sup>し<sup>上</sup>げ  
ま<sup>す</sup>。



## ～ 長泉寺 ボランティア基金会 だより ～

いつも心温まるご支援、誠にありがとうございます。いただいた浄財は、RNN 人道援助宗教  
NGO ネットワークを通じて、国際医療 NGO である AMDA の活動に寄託されます。

☆志納金 36,831 円 (令和5年3月9日～令和5年6月13日)

### ◇トルコ・シリア地震基金募金 15,882 円

大西成美、矢部みどり、渡邊進、山田紀香、中村久美子、原田清子、  
間健一、大熊峯子、光岡香里、白神美保、西田桂、富田英行、佐藤恭子、  
森本絵梨子、中村友美、真部京子、橋本時夫、猿田彦交通

### ◇東日本大震災緊急救援募金 7,693 円

大西成美、山田紀香、原田清子、間健一、大熊峯子、西田桂、  
佐藤恭子、光岡香里、森本絵梨子、千田哲、真部京子、石原敏江、  
森定奈都美、橋本時夫

### ◇ウクライナ難民募金 13,256 円

矢部みどり、山田紀香、中村久美子、原田清子、間健一、大熊峯子、  
光岡香里、西田桂、佐藤恭子、中村友美、真部京子、石原緞吾、  
橋本時夫、森定奈都美、黒住トシ子、新和子

### 長泉寺ボランティア基金会 寄付金の受付

ゆうちょ銀行 総合口座  
15460 30539111

郵便局以外の金融機関から  
振込む場合は

【店名】五四八 【店番】548  
【預金種目】普通預金  
【口座番号】30539111

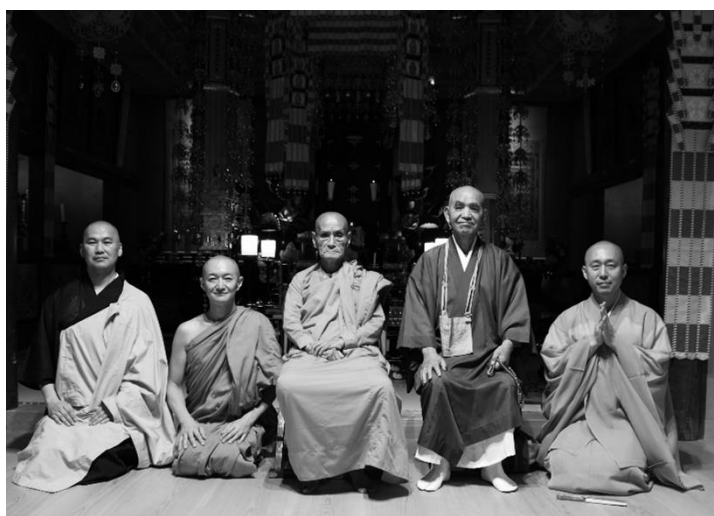
ご協力をお願いします



# 佐々井秀嶺師御来山

インド仏教界最高指導者と呼ばれる佐々井秀嶺師（八十七歳 ※写真中央）が六月十日、当山へご参拝されました。

佐々井師は、岡山県新見市出身。長じて東京の高尾山薬王院にて得度、ご出家された後、タイ国へ仏教留学。昭和四十二年（一九六七）にインドへと渡ら



れますが、ある夜に大乘仏教の祖・龍樹菩薩より「汝速やかに南天竜宮城へ行け。南天鉄塔またそこにあらん哉。」という夢告を受けます。以来、その南天竜宮城の場所であると言われるインド中央部ナグプール市を拠点に、インド初代法務大臣で仏教徒であったB・R・アンベードカル氏の遺教を継承して、インド民衆のために

半世紀にわたって身を捧げられてきました。

特にヒンドウカーストによって触れることも見ることも汚らわしいと差別される人々（不可触民）を仏教へと改宗し、カーストから解放へと導く師の活動は、現在一億とも二億とも言われる仏教徒を新たに誕生させており、まさに偉業と言うべきところ です。



佐々井師は、長年にわたって

師への支援を行ってきた当山との縁から、四十四年ぶりに帰国を果たされた平成二十一年（二〇〇九）長泉寺開山五〇〇周年記念大法会をきっかけに、帰国時には必ずお立ちより下さるようになっておりましたが、コロナの影響で今回は四年ぶりの来日、併せて当山へのご参拝となりました。

当日は、ナグプール市で石刻された「必生不動明王」の御



尊前で護摩供養法会を行った後、佐々井師の支援者や相談者らが日本全国から訪れ、それぞれが当山本堂にて師にご面会をされました。師はお一人お一人のお話に耳を傾け、時にはともに涙を流しながら、我々人間の進むべき道を説かれました。

佐々井師に対する支援活動は、平成二十六年（二〇一四）に発足した南天会が中心となって行っておりま す。皆様にもぜひご関心をいただければ幸いです。

南天会

検索

ぜひ一度検索を

## 山根俊子さんご逝去 法号 壽教院俊月妙心大姉

当山合唱団で長年ご活躍をされた山根俊子さんが五月八日、算九十歳でご逝去されました。

山根さんはとても朗らかな御人柄で、特に歌がお好きでした。合唱団員としてご活躍されただけでなく、毎年の「除夜の鐘」では参拝の皆さんを巻き込んで会場を盛り上げ、新年を祝う歌をうたい、おかげでいつも明るいう年越しを過ごすことができました。

一方では、ご自身の戦争体験を子どもたちに伝える活動を大切にし、何よりも平和を尊ぶ御方でした。

ここに感謝と哀悼の誠を捧げ、ご冥福を至心にお祈りいたします。

## 吉田敏子さんご逝去 法号 賢豊院舒京妙敏大姉

長年にわたり当山世話人をお勤め下さった吉田敏子さんが五月十一日、算百一歳でご逝去されました。

吉田さんは茶道や合唱団の文化活動のほか、特に写経を熱心に取り組まれました。今の写経会の礎を築いて下さったお一人であります。

努力家で、気丈なお人柄でありながらも、人あたりはとても穏やか。皆様からよく慕われました。

ここに感謝と哀悼の誠を捧げ、ご冥福を至心にお祈りいたします。

## 佐々井秀嶺師 仁和寺講演

佐々井秀嶺師公認の後援組織である「南天会」は六月二十五日、総本山仁和寺の「大内の間」に於いて、佐々井師が講師を務める「南天鉄塔考察」を開催。当山より光研名誉住職も登壇し、仁和寺と南天鉄塔との関わりについて意見を述べました。

南天鉄塔とは、真言教主大日如来、金剛薩埵と相承された秘法を、「八宗の祖」と仰がれる大乘仏教創始者・龍樹菩薩が授け受けた場所として伝承されており、真言宗にとってはまさに教えの発祥地であります。

佐々井師はこれまで、龍樹菩薩より受けた夢告、さらには歴史的文献を基にインド国ナグプール、マンセルの地において南天鉄塔の発掘調査を続けてこられました。

かつて、真言宗の学僧である故・梶尾祥雲師や故・頼富本宏師らによってインドでの南天鉄塔の調査が行われていましたが、未だ確証には至ってお

らず、現在は佐々井師のみがその現地調査を進めている状況です。

マンセル遺跡は現在、政府の認可が進まず調査も滞ってしまっていますが、これまでに発見されているものだけでも仏教遺跡である蓋然性は高く、さらにはその立地的条件と歴史資料との一致点も多いことから、南天鉄塔である可能性は低いとは言えません。

大内の間には、佐々井師に一目会いたいという御方や南天鉄塔への関心の高い人々で溢れ、大変な盛会となりました。



## 奉 納

六月十六日、檀徒・浦上洋氏より、夏用の「衲衣」と呼ばれる袈裟をご奉納いただきました。

衲衣とは、主に住職が晴れの法会の際に着用する金襴装飾の袈裟で、大変価値の高いものであります。

この度、浦上家の家内安全を願い、お納めいただいた次第です。

今後、当山の寺宝のひとつとして、丁重に使わせていただく所存でございます。

浦上氏には心より感謝を申し上げます。

合 掌

住職 龍門



本堂に

極彩色の

マンダラ

軸図があ

る。

金剛界、並に胎藏界の両部マ

ンダラは、インドから

中国へと伝わり、現在

は日本で異彩を放つ。

仏の世界を写し取った

もので、「斑模様」の

語源でもあろう。

現在メジャーリーグ

で大活躍をしている大

谷翔平選手は、高校生

の時に「マンダラチャ

ート」なるものを用い

たという。別に「目標

達成シート」とも呼ぶ

そうだが、自身の目標とそれを

達成するための具体的なノルマ

を図表し、自らがそのマンダラ

を実践するのである。内容は違

えども、そのやり様は真言僧侶

と同じであるから面白い。

## マンダラ

～日本語と真言宗シリーズ～  
名誉住職 光研

世に「〇〇マンダラ」とか、

風趣を「〇〇三昧」などと用い

られることがある。これは梵語

の派生であり、まさに仏教語で

ある。

また「曼荼羅華」とは、仏に

出逢う際の法悦を象徴する

白蓮華の呼び名であるが、

同じく白い花を咲かせるチ

ヨウセンアサガオの別名で

もある。

「マンダラ」はサンスク

リット語であるが、中国語

になると「輪円具足」と訳

される。一見すると多種多

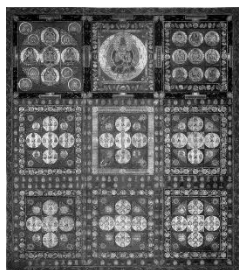
様でごちゃごちゃしている

ように観えるマンダラであ

るが、よく観てみると、全

てに過不足無く、円く整っ

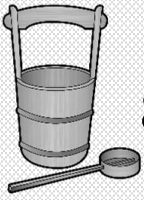
ているという意味である。



(続)



回向 檀信徒各家精霊



# 盂蘭盆総供養法会



8月15日(火) 9時～10時 受付8時半～ 於：玉佛堂

永代供養をされている方、お盆行時にお留守をされた方など、  
ご参列を希望される方にはお時間までにお位牌をご持参ください

ご先祖・萬霊供養 日帰りバスの旅

おせがき行 8月19日(土) 午前7時 貸切バス 長泉寺出発

参加費 10,000 円

(旅費・昼食代込み)

中学生以下 2,000 円

真言宗御室派大門寺(茨木市)にて

施餓鬼法会を奉修

大阪万博記念公園(国立民族学博物館、

太陽の塔)を観光

※詳しくは別紙ご案内をご覧ください。



## 長泉寺 将棋クラブ

毎月一回 客殿で開催中 参加無料

■62回目

7月29日(土) 13:30-16:00

■63回目

8月20日(日) 13:30-16:00

いつも集まったメンバーで楽しくやっています。  
どなたでもお気軽にご参加ください。

※都合により、日時等が変更になることがあります。  
事前にお問合せください。

## いづみ ペーパーレス化

可能な御方に限り、『いづみ』のペーパーレス化にご協力いただいております。※すでにご登録をいただいたお方には感謝申し上げます。

ご対応いただけます檀徒様には、下記アドレスまでお名前とご住所をご送信下さい。

idumi@chosenji.net

恐山菩提寺 南直哉院代にお会いし、お話をいただきます。  
参加費用、旅程詳細などについては現在調整中です。  
詳しくは追ってお知らせいたします。

主催：杖心会

10月8日(日)～10日(火)  
恐山参拝の旅

青森県 下北半島  
おそれさん



第24回 平和の鐘をならそう！  
日時：8月15日(火) 正午～  
主催：岡山ユネスコ協会



## とうろう 灯籠流し

8月16日 18:00～20:00

於：西川アイプラザ前 西川緑道公園

主催：岡山市仏教会